



独立行政法人理化学研究所 仁科加速器研究センター
第178回 RIBF核物理セミナー
RIKEN Nishina Center for Accelerator Based Science
The 178th RIBF Nuclear Physics Seminar

原子核物理学と核セキュリティ・核不拡散
Nuclear physics for nuclear security and nonproliferation

研究主幹 早川岳人 氏

独立行政法人日本原子力研究開発機構

Principal Researcher Dr. Takehito Hayakawa

JAEA, Japan

2010年より核安全保障サミットが2年毎に開催され、核セキュリティが世界的な重要課題の一つになっている。日本も教育や技術開発などで様々な貢献を行っている。現在求められている重要な核セキュリティ技術の一つは、隠ぺいされた核分裂性同位体(核物質)を非破壊で測定する技術である。しかし、従来技術では原理的に測定困難であるため、核反応レベルから考え直した新しい測定技術が必要である。また、それを実現するためには現在の性能を超える量子ビーム源の開発が必要である。したがって、原子核物理学、加速器科学、レーザー物理学、核融合科学等の専門家の貢献が求められている。本講演では、世界の情勢と日本における研究開発の現状を報告する。

This seminar will be given in Japanese language.

April 22 (Tue.) 2014 13:30 ~
RIBF Hall (rm.201), RIBF bldg., RIKEN

Contact: Nuclear Physics Seminar Organizing Committee
npsoc@ribf.riken.jp
<http://ribf.riken.jp/~seminar/>